

51

特 253

3/2

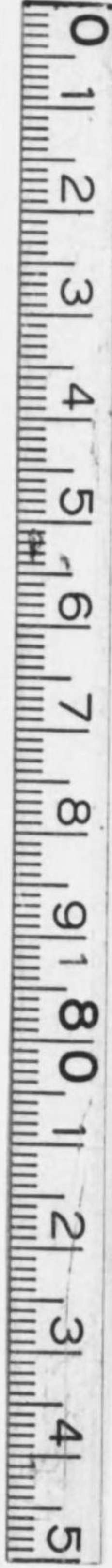
時局叢書

第二輯

芦田均述

東亞問題と國際關係

金光教本部



始



特 253
312



時局叢書 (第二輯)

東亞問題と國際關係

法政學博士
衆議院議員

芦

田



金光教本部

小 引

- 一、本篇は今春三月東京に開かれた、本教教師時局講習會における、講義の筆記録であります。
- 一、本部は、右講習會に出席することの出来得なかつた教師をして、その講義の内容を知らしめ、時局下における各方面の認識を新にして、今後の御奉仕の上に、一層の力をいたされんことを期待して、これを公刊することゝなりました。
- 一、『時局叢書』とは、編者の假りに命題した所のものであります。
- 一、講師諸先生には、公私御繁務の折柄、御講義の筆記録に、それぞれ、懇精に御加筆を賜りましたことは、眞に恐縮に堪へませぬ。謹みて厚く御禮を申し上げます。更に之が筆記のために、終始容易ならぬ勞を煩はした、新納武夫氏に對しては今更感謝の言葉もありません。こゝに改めて深甚の謝意を表する次第であります。

昭和十四年九月

編 者 識

東亞問題と國際關係

芦田均述

未曾有の時局でありますから、教化團體に屬せらるゝ諸君が時局に對して多大の關心をおもちになることはよく諒承致します。

私共の立場からしても、この時局に最も犠牲を少くして充分國策を達するには、どうすればいゝかといふ問題は、毎日考へない日はないのであります。

然しながら既に戦争になつた以上は、相手のある仕事であります。日本國民の決心努力のみで總てが解決されるといふ譯ではありません。我々の支配し得ないいろ／＼の條件が時局の將來に織り込まれてゐるのでありますが、何としても時局の前途は長いといふ見透しにおいては、政府も軍部も、亦國民の多數も殆んど一致する處であります。事變の當初一昨年七月に北支事變が発生した頃、日本政府は現地解決、不擴大方針と稱して、問題は北支現地において地方的に解決する。擴大させないといふことは當時政府の發表した通りであります。國民としては即戦即決の方針を

以て出来るだけ早く事件を擴大させないで解決して行かうといふのであつたが、同時に支那國內の情勢は勝つても敗けても蔣介石は一應起ち上らざるを得ない情況になつてをたつたのであります。日本の即戦即決に對應して決戦を行ふ場合は、所詮支那に勝味はない故に、即戦即決を避けて長期抗戦の方法によつて、マラソン競走で日本に對抗して行くといふやり方を採つたのであります。其處で南京が陥落すれば恐らくは時局は片付くであらうと考へられた時もありました。徐州を奪つたら戦争は済むだらうと考へた時もありました。漢口まで行けば蔣介石はへこたれると考へた時代もありましたが、何れも戦争は終結に到らなかつたのであります。

徐州戰漢口戰と大會戰が行はれる毎に、出来れば支那軍を包圍して、所謂殲滅戰を敢行する計畫でありましたけれども、何といつても日本の兵力は支那軍より数が少ないのであります。豫定の通り包圍戰によつて主力を殲滅する計畫は實行出来なかつた。日本軍が接近すると共に支那軍は兵を纏めて退却する方針を採つたのでありますから、今日においても蔣介石はなほ百萬の兵を擁して我方の第一線と對抗の姿勢を取つてゐる。無論支那の海岸全部、重要な支那の都市、鐵道線路の大部分は日本軍の手に歸してをります。それでもなほ且つ、支那は平野地帯から引下つて山間奥地に立籠り抗日戰をつゞけておます。

最近蔣介石の許に行つて數回會見した、イギリス大使カー氏の如き、アメリカ大使ジョンソン氏の如き、支那駐在の外交官がどういふ印象を受けて來たかと申しますと、蔣介石はまず／＼抗戰意識に燃えてゐる。昨年支那は豊作でありましたから、食糧は當分事を缺かない。兵器、彈藥は勿論豊富ではないけれども、未だ一年位日本に對して戰爭を繼續するだけの準備を有つてゐる。海外にも未だかなりの資金を有つてゐると報告してゐますから、戰爭は續くも

のと思なければならぬ。今後漢口戰とか、徐州戰といふが如き大會戰は起らないであらう。近く起ると期待されてゐる戰爭は漢口の西、湖北方面であると思ひますけれども、この戰爭は漢口戰、徐州戰の如き大會戰でないことは大體今日から見透し得るのであります。

そこで恐らく今後は大きな武力衝突は起らない。武力によつて決戦を行ふことがないとすれば、戰爭の勝敗は何によつて決するか。勢ひ武力以外の要素に重大な關係がある。あるひは經濟戰爭で、あるひは外交の戰爭によつて今後の時局が決定せられることは略々豫想し得るのであります。

然しながら經濟の問題については私は専門ではありません。暫く他の方々の御説を傾聴することが適當であると考へますから、今日私のお話は専ら外交問題に限られるのであります。

二

事變の突發した當時現地解決、不擴大の方針で北支に地方的解決を求める政府の決心は、その後の情勢發展によつてこれを放棄することになつた。一昨年八月月中旬から上海附近に戰鬪が起り、引つゞいて一昨年十二月南京陥落に到るまでかなり大部隊の衝突が中支方面に起りました。北支における日本軍も次第に南の方に下つて來る。そこで政府は所謂長期建設と稱する方向に向つて國民の堅忍持久を求め、長期戰爭に對應する姿勢を取ることによつて變つた譯であります。

事變當初には戰爭が直ぐに片付くといふことから、平和産業の如きも、或は外國貿易の如きも一時犠牲に供するこ

とも致方ない。紡績屋が困らうが、外國貿易が止らうが暫く我慢して貰ふ他ないといふので事變に對處したのであります。然るに長期戦となると平和産業が潰れてはならない。國防の資材を外國から買入れるため、輸出貿易が衰へてはならない。輸出が振はないから、物資輸入困難なる折柄、貿易振興は最も必要である。平和産業の振興も亦必要であるといふことになる。そこで政府はどうしても政策を轉換せねばならぬ立場に起つたのであります。

近衛さんが辭せられ、平沼さんが出て、人心を一新して長期戦に當るといふ方向に向いて來たことは、時局の進展と共に寧ろ當然の行き方であつたと思ひます。

處がもと／＼極めて短い事變であるといふ見透しに初つたことでありますから、經濟的方面においても、外交的方面においても長期戦に當るだけに十分の準備が出来てをりません。無準備に大事件が起つたことは、日本の外交政策に於ても多くの手違を生じた原因となつて居る。これを一口でいふと、事變の始つた當時我國の國際的地位がかなり困難な状態にあつたので、日本がこの國際情勢をそのままにして今回の事變に打つかつたといふ事から、事變以來益々日本の立場が厄介な情勢に陥つて來たのであります。

三

事變若くは戦争といふ時には國內の敵愾心が旺盛になつて來る。勢ひ冷靜なる判断よりも、感情の方が強くなる。さういふ事態においては自分等に愉快な出來事は出來るだけ大きな字で新聞に書いてゐるが、聞くことを好まない報道は新聞社の反古籠の中に捨てられ、偶々新聞に載つても、隅の方に小さく載せられる傾向になり勝ちであります。

従つて現在の新聞雑誌を通じて世界の日本における人氣をほんとうに知るとは頗る困難な状態であります。事變以來外國に足を踏み入れた者が一致して感ずることは、世界の日本に對する空氣は我々が日本國內において新聞、ラヂオを通じて承知してゐるやうな生易しいものではないといふことであります。

然らば何故世界の人氣が日本のためにあまり芳ばしくなくて、どれもこれも支那に同情する態度を取つてゐるかといふ理由を考へて見ると、いろ／＼數あると思ひますけれども、私は先づ大きな理由は四つあると考へてをります。第一の理由は人間といふ動物は弱いものと強いものが争つてゐる場合は大抵弱者に同情を有つといふことであります。アメリカ人が俗に申します。組み伏せられた犬に同情を有つといふ氣持を共通に抱いてゐる。無論相撲その他のスポーツを見る場合はまるで心理作用は反對でありまして、双葉山が六十九人を立てつゞけに取つて投げた、それが人氣を高からしめた所以であります。一月場所で測らずも敗れた。すると、今度は取つて投げた奴が人氣が出る譯で、オリムピックの競技でも村社のやうに馬のやうに走る奴が人氣があり、前畑さんが眞つ先に泳ぐのに人氣が集り一番びりでのろ／＼ついて行く選手に人氣が集る理由はありません。然し眞剣な争ひとなると人間は矢張り弱者に同情を有ちたくなるのが人情の自然であります。そこで支那は柄になく弱い。日本は無暗に強い。日本が面憎い。弱い支那が可哀さうに見える。この氣持は我々にもよくわかる。今から三四年前にエチオピア事件が起つた、イタリアが遠征に出かけた。イタリア軍は兎狩のやうに土人を追ひまくる。それが新聞に現はれた際日本人の多數はどう感じたか。エチオピアはアフリカの眞ん中にある、半分は黒人の國であつて、極東の日本とは縁は極めて薄い。戦争が起らなかつたら恐らく日本人はエチオピア等といふ國の存在も知らずに済んだかも知れない。然るにエチオピア事件が始

まり、毎日のニュースが新聞に現はれると、『エチオピアは可哀さうだ、一遍位戦争に勝てばいい』と日本人が同情を有つようになつて、イタリアは何となく面憎いといふ譯で、仕舞には日比谷公園で國民大會を開いてエチオピア國王に激勵電報を打つといふ騒ぎがありました。イタリアでは日本人がエチオピアを支持するとは甚だ以て怪しからぬといふので、ムツソリーニに日本反對の演説をした。ローマの市民が旗を押立て、日本大使館に押寄せるといふ情態でありました。それ程エチオピアに日本人が同情を有つたのはエチオピアに勝たせる義理があるかといふと、さういふ義理は毛頭ありません。エチオピアが勝ては何か甘い汁を吸はうと考へて同情したか、さういふさもしい根性でエチオピアに同情したものではなかつた。極めて純なる氣持から弱いエチオピアが可哀さうだといふことで、日本人の多數がエチオピアに同情を有つた程度であります。そこで今度の日支戦争に外國の多數民衆はエチオピア戦争當時の日本人と同じやうな氣持でこの事變を見てゐると考へて先づ間違はないと思ひます。それですから例へば日本軍が漢口を爆撃する。廣東を爆撃する。空中爆撃については國際法専門家の意見によつても敵が嚴重な防備を施してある都市を空中から爆撃することは當然許されてゐる事柄であります。そこで日本は廣東、漢口を爆撃した。處が飛行機は高い處から爆弾を投げる、近代の高射砲は射程が非常に長くなり一萬尺位の高さに届くから、防備した都市の上空においては、飛行機はさう下の方に降りて爆弾を投げる譯にはゆきません。故にどんな上達した飛行士でも、投げた爆弾が百發百中高射砲、要塞の上で炸裂するといふ譯にはゆかぬ。時あつては、そば屋の二階に落ちることも、おでん屋の屋根に落ちることもありません。そこで人間が傷くとこれを支那がどう利用するか、『今日の廣東の爆撃によつて市民は七百人死んだ。その中二百人は婦人で、百五十人は子供だつた』と云ふ風にしてニュースを全世界に振散く。外國

の新聞は大きな文字でこれを取扱ふ。この記事を読む人が一々理窟を考へて、支那軍が防備した都市を日本軍が爆撃を加へるのは國際法上致し方ないと考へ乍ら新聞を読む人は一萬人に一人もありません。大抵の連中は新聞に讀まれる。そこで『日本人は酷い。支那人は可哀さうだ。』かういふことになります。

一 昨年の暮バネー號といふアメリカの軍艦が南京の陥落する前日の十二月十二日に、南京引揚げのアメリカ人、ヨーロッパ人を乗せて戦争の現場から逃げて居つた。それを上から日本の飛行機が見て、てつきり支那兵が逃げると見て爆弾を落した。同艦は沈没したのでアメリカの輿論は頗る激昂した。アメリカ政府は少々もてあました。日本政府では事實を調査した處支那軍だと思つて爆撃したので、アメリカの軍艦であるとは知らなかつたといふ事實が判明したのであります。そこで誠に遺憾な出来事ではあるけれども、アメリカの軍艦と知らないで爆撃したのであるから、これがため日米兩國國交にひびが入るが如きことは避けたいといつた意味の手紙を出した。ワシントン政府も即日バネー號事件は解決したと發表したのであります。處がバネー號の艦長がアメリカ政府に出した報告にどうなつてをたか。十二月十二日は天氣が良かった。飛行機からアメリカ國旗が見えない筈はない。攻撃軍はアメリカ軍艦と承知して爆撃したと認めざるを得ないと書いてある。それが新聞に載つた。日本政府のいふことより自分の國の役人が出した報告の方がほんとうだらうと考へることはアメリカ人として一應の理窟であります。そこで日本政府は何と云ふとも、日本はアメリカ軍艦を故意に爆撃したものなりといふ風にアメリカ人は感じてしまつた。従つて當時のアメリカの新聞の書いたことは『バネー號事件は日本政府とアメリカ政府の間は解決した。然しアメリカ人と日本人の關係においては解決しない。』といふ風なことをいつたのであります。

殊にその事件は日本反對の宣傳のために實に巧に利用された。といふのは、バネー號にはアメリカ映畫會社の技師が乗つてをりました。そこで爆彈を落した跡の詳しい光景をすつかりフィルムに撮つた。彼等はこの映畫ならば儲かると思つたに違ひない。また儲けたのでありますが、この映畫のフィルムを太平洋を渡る飛行機に積んでアメリカに届けた。この時に卅五萬弗の保險を掛けてゐる。香港にフィルムが着くと日本人が襲撃するといふ口實のもとに装甲用自動車二臺がこれを護つて、フィルム工場に運ばれるといふ芝居がかりで大騒ぎをやるのを、アメリカの新聞は寫眞を載せて麗々しくバネー號のフィルム到着といふ記事が出る。アメリカ人は一日も早くこれを見たいと待つてゐる。封切の日は何處の映畫館に行つても大入滿員で切符を買へないで多くの列が續いたのであります。處が中に入つて見るとあまり面白いフィルムではありません。揚子江上でどんよりした冬の日の實寫ですから、迎も撮影所の中で撮つたやうな面白いフィルムではありません。然し面白くないものを面白く見せなければ金にならない。如何に面白く見せるかといふことは映畫會社の苦心した處であります。

このフィルムの初めは上海戦争から初まる。日本のタンクかどん／＼進撃して行く。大きな大砲を支那の陣營に撃ち込む。街は焼ける。何千の支那人が逃げて行く。子供を手に背に、右往左往する。亭主の死骸に取纏る女房が出たり、小さな子供の死骸を抱いて運げる支那人が出て来る。その邊で感情の強いアメリカ婦人等はハンカチを出してしく／＼泣き初める。かうして見物人の頭の準備をして置いてから、いよ／＼バネー號の本题をやつて見せる。フィルムはさう長いものではありません。爆彈が落ちてからの騒ぎを撮つてある。怪我人をボートに乗せる。乗組員が最後に船をすてる。やがて船が波間に傾いてだん／＼沈んで行く。それだけの映畫です。ちつとも面白い映畫ではない。そ

こで映畫會社はお客の頭を昂奮させる必要上トーカーで説明を付けてをります。その説明が實に激しい言葉でやる。日本人は殆んど座にをれないやうな激しい言葉でトーカーがいろ／＼なことを云つて聞かせる。その一つの例を申しますと、バネー號が傾いて將に揚子江の浪に沈まふ。すると説明が、『アメリカ海軍は世界大戦以來未だ嘗て敵の砲彈によつて沈められた歴史はない。今バネー號が沈む。』かういつて船が浪に沈んでしまふと、後にスクリーン一面にアメリカ國旗を掲げて見せる。アメリカ人は水を打つたやうになつてこれを見る。それから今度は怪我人の一人々々を撮して、説明のいふには、無慈悲な敵彈によつて何某はこの通り傷ついたといふ。お客は非常に昂奮の顔をして見てゐる。其處へ日本の大使がバネー號事件の釋明にラチオ講演をする寫眞が一寸出る。亡くなられた齋藤君の放送の寫眞である。お客達は一齊に足を踏み鳴らし、シー／＼といつて引つ込めといふ様子をして見せる。それについて蔣介石の細君宋美齡の寫眞が現はれる。満場拍手喝采これを迎へるといふのが映畫館の光景であります。

さういふ映畫がアメリカ四十八州はいふに及ばず、ヨーロッパの國々、歸途立寄つたエチプト、印度、シンガポール到る處立看板の大きなのを出してバネー號爆撃の實況といふのがお客を呼んでゐた。かういふフィルムが日本反對の宣傳になつてかなりの効果を與へたと思ひます。斯様な事件は事變發生以來時々起る。あるひは日本軍の支那における行動なるものは僅かなことを所謂誇張した記事を掲げる。さういふことが外國人に與へる印象がかなり深刻であるやうに思ひます。これが感情の方面から日本反對の空氣が漲つてゐる理由だと思ひます。

それから第二の理由は、この事變が日本の勝利に歸した場合に、自分の國の利害關係に如何なる影響を與へるかといふ見地から、日本並に支那に對する態度を定める國が頗る多い。かういふ事實であります。

御承知の通り支那は大國でありまして、四億五千萬の人口を有つてゐる。四億五千萬の人間が一つの國境の中に纏つて生活してゐる國は、世界廣しと雖も支那以外ないのであります。この四億五千萬をお得意にしたら大した商賣が出来る。支那人が毎年浴衣一反宛買ふとしたら、二億、三億の商賣になるといふのですから、この市場を目がけて世界各國から集つて來てゐる。イギリスの如きは支那に手を出してから既に二百年になります。香港を取つてからでも百年になります。この間に支那にして、最近の數字によると彼は日本の金にして五十億圓の資本を下して鐵道を敷き、港も作る。鑛山も開發してゐる。船も澤山來てをります。處がこの大きな支那の市場を世界の各國が寄り集つて分割してしまつては得意が小さくなる。あの支那を大きなお得意として、何時までも保存して置きたい。分割しては困るといふ考へ方は所謂支那の領土保全政策と稱することになる。かういふ考へは歐米各國の略々共通の希望であります。處が支那を相手に商賣し、仕事をするとしても支那を政治的に左右する國が出て來たなら、その國は必ず自分の政治的優越な力を利用して自分の國だけに有利ないろ／＼な仕事を初めるに違ひない。だから支那で商賣し、仕事をするものは何處の國も平等の立場において商賣が出来る、仕事が出来ることにして置かなければ困る。所謂支那の門戸解放政策と稱する形になつて現はれる譯であります。

そこで日本が政治的に支那を左右する如き状態になつたら、それ以外の國民は支那の市場から追出されてしまふ。かういふのが多數の國の考へてゐる危惧であります。

イギリスにしても、アメリカにしても既に何十年來この方針で支那に臨んで來てゐる。御承知の通り日清戦争の直後支那の正體が大體世界に暴露された時に、ロシアは旅順大連に出で、ドイツは山東膠州灣を租借する。イギリスは威海衛を、フランスは廣州灣を租借するといふ譯で、大體支那分割の端緒を開いたと思はれる。そこで義和團事件と稱する支那の尊王攘夷論が勢を得て、動亂が起つた。その機會に乗じてロシアは北の方から滿洲に兵を入れて、殆んど滿洲全體を占領し新義州や鎮南浦まで手を伸して、支那は將に累卵の危きにあつた。その時にイギリスの考へはこの勢で押されて行つたら何といつても支那の大部分が占領されてしまふ。然しロシアと實力で戦を起すイギリスではない。日本と同盟して、日本の力を利用して、ロシアを抑へることが出来るだらうといふことで、初めて日英同盟が結ばれたのが今から三十七年前のことです。日英同盟なるものは、日英は支那の領土保全門戸解放政策において一致した。もしこの政策に反對するものがあるならば兩國は力を合せて採るべき方針を協議しやうと書いてある。間もなく日露戦争が初つた。戦争は豫定の通り日本の大勝に歸した。この戦争の間にイギリスはかなり肩を入れて日本を援けた。現在世界が支那を助けるとか、蔣介石を援助すると申しますが、當時のイギリス、アメリカが日本を援けた程度と比べて見れば、殆んど比較にならない小さなものであります。

極く簡単な例を取つて申しまして、日露戦争の際日本が使つた軍事實費十七億七千萬圓であります。その内日本はイギリス、アメリカから額面において十億圓の金を借りた。即ち戦争の費用の半分以上は外國の金で賄つたので非常に樂です。今度の戦は國民の躰操金を以て戦争して居る。外國から金を借りる見込は一寸ありません。否でも應でも國民の躰操金を當て込み戦争するより仕方がない。處が國內の物資を以てそれで戦争が出来るといふ事なら外國か

ら金を借りる必要はありません。金の要る場合は政府が公債を募集して、その公債によつて紙幣を發行して國內の物資を集め戦が出来る。紙幣がうんと溢れてくれば、民間に公債を賣出して、その紙幣を吸ひ上げて来れば公債と紙幣が廻廻しになつて簡単に物資を調へることが出来る。何處の國でも大きな戦争をやつて行くのに外國から物を買はないで戦争はやれない。然し今までは日本の資源によつて行詰つてゐないが、戦争を續行する上において、物資を外國から買はねばならぬ。鐵、ガソリン、銅その他總ての金屬、兵隊に着せる外套の原料、夏服用の木綿、綿火藥の原料總て外國から買はねばならないのです。

國內物資は日本銀行の紙幣で幾何でも買へます。日本銀行の紙幣には、總裁の印が押してあり、菅原道眞、武内宿禰が保證人に立つてゐる。だからこれには間違ひないと吾々は思つてゐる。然し外國人は菅原道眞や武内宿禰のみではなか／＼物を賣りません。勢ひ現金で物を買はざるを得ない。この現金は日本銀行の金庫の中に虎の子のやうに仕舞つてあるけれども限度がある。大抵底は見えてをります。さう自由に金を國外に持ち出す譯にはゆかない。さうすれば外國に物を賣つて、即ち輸出貿易を盛んにして物を外から買ふことが第一である。然るに一方で大戦おほいさをしなから片方で輸出貿易を盛んにすることは理窟は結構でありますが、さうはなか／＼出来るものではありません。差當り日本は外國から戦争に必要な物資を買入れるため金がかかるのですから、國民の日常生活に消費してゐる外國品は出来るだけ節約して行かないと國防に必要な資材を十分に手に入れることはむづかしい。それが今日行はれてゐる所謂經濟統制と稱する組織であります。

國民は出来るだけ外國品を日常生活に使ふことを止めなければならぬ。家庭では出来るだけ始末しなければならぬ。綿や羊毛は軍用以外スフで我慢しろ。自轉車や自動車のタイヤが買へなくなつたら草鞋を作つて履く。地下足袋、ゴム靴も手に入れることはむづかしい。靴の代りに下駄を履く。かういふことになさざるを得ない。それが今日の統制を必要とする理由であります。

五

この情勢は當分續くでありませう。この下半期にはもつと苦しくなることを豫想して置かねばなりません。處が日露戦争にさういふことを行はなかつたのはロンドン・ニューヨークで金を準備して、之を以て鐵砲や軍艦其他の必需品をどん／＼日本に運び、仕舞には兵隊に着せる外套までニューヨークから持つて来た。さういふやうにイギリスアメリカが日本を助けたのは、日本が好きだつたのか。日本に惚れてゐたのかといふと、惚れた、はれたの問題ではない。日本が戦に勝つてくれれば、イギリスは極東政策の安全と支那の領土保全、門戶解放を維持できるといふ算盤をおいての話であります。

處が日露戦争が済んで日本が朝鮮を併合し、その後滿洲に勢力を張つた。其處まではイギリスもアメリカも初から織込んでゐる政策で、一向異存はない。その後だん／＼日本の勢力が支那本土に伸びてゆく、世界戦争の時は山東からドイツを叩き出す、滿洲全體が日本の勢力になる。さうなると、イギリス人の考へたことは、これは大變なことになつた、折角ロシアを抑へたと思つたら後から出て来た日本が手恐い。この勢では支那全體が日本にやられてしまふと恐怖して、今度は後に廻つて蔣介石に支那支那をした。支那が強くなれば自ら日本の勢力に當るであらう。然しこれで

なほ日本を抑へることが出来ないなら、アメリカの援助、ロシアの力を利用するより方法がない。これが數年來のイギリスの行き方でありませぬ。

そこで日本ではイギリス人といふ奴は甚だ怪しからぬ。同盟を結んで親類交際をした間柄にあるに拘らず、今になつて背後に廻つて事を爲すは矛盾撞着も極まると憤慨する。するとイギリス人は『どう致しまして私共は何百年もかういふ行き方である。ロシアが強くて困る時には日本と一緒になつて、ロシアを抑へた。日本が無暗に強くなつたら今度は支那を援け、アメリカと一緒にするのである。これが勢力の均衡といふ方策でありまして、私の方は家代々これをやつて来た。』と恐らく云ふだらうと思ひませぬ。

イギリスは支那に五十億圓の資本を投じてゐる。事變以來この四割ばかり損をしたといふから先づ二十億圓の損をしたのでありませう。それでもこのまゝ行つたら五十億圓全部がフイになるかも知れないといふのがイギリスの一番心配する點であります。そこでこの權益を保持するためにいろ／＼日本に對して手を盡してゐるがなか／＼折合がつかない。どういふ問題が残つてゐるかといふと具體的に一々申し上げませんが、只權益といつたばかりではお判り難いかと思ひませぬ。今日本とイギリスとの間に懸案になつてゐる問題は百五六十件あります。解決したかと思ふと又新しい問題が出て来る。それは例へば上海から南京に行く鐵道、滿洲から北京に入る鐵道、何れもイギリスの借款でイギリスが金を出した鐵道である。そこで會計に關すること、技術方面は何れもイギリス人でありました。事變以來日本は軍隊輸送の必要上これらの鐵道を占據してをります。イギリスがいふことには幾等支那の鐵道とはいへ俺が金を出した鐵道だ。只自由に使はれては叶はん。そこで使用料でも出すとか、配當の幾割を出すなら我慢しようが、只

使はれては叶はんといふ。日本の方では事變が済むまで當分我慢しろ、かういつて使ふ。それから上海の揚樹浦附近にいろ／＼な工場があります。日本人は事變後工場を修理して紡績工場を始め、鐵工場その他の工場を動かし、外國人はまだ工場に封印したまゝで入れない。彼等は日本人だけに許して俺達の工場に立寄ることを許さぬといふことは第三國の權益を尊重するといふ日本の宣言に反するじやないかといふ。揚子江の航行問題も亦同じことであります。揚子江は日本海軍が漢口を占據した。日本の商船が澤山の荷物を積んで通ふ。イギリスの方では大きな汽船會社が二つあります。その外國船は通れない。それを相手は怒る譯であります。さういつた問題が百五六十件に上つてゐる。これが日本とイギリスの懸案であります。これをどう解決するかが將來に残されてゐるのであります。

かういふ立場で見えてゐるイギリスがこの事變において日本が勝つことを望んでゐるか、ゐないか。改めて聞くまでもない。然し又支那の勝つことを望んでゐるかと思ふ。支那人は相當横着になつて來てゐるから事變前でもイギリスは手古摺つてゐた。萬一支那が今度の戦争に勝つとしたら手のつけやうがない。歐米人は十把一からげに叩き出される。然らば何を第三國は望んでゐるか。今日の如くにして二三年戦争してゐるうちには日本も持つてゐる金をアメリカ、イギリスに送つて來るだらう。支那も銀を外國に持出し、双方ともへと／＼となつて勝負なしに引分けになつたら、これ程結構なことはないと、恐らく彼等はこれをねらつてゐると思ひませぬ。

六

それから今度はアメリカの問題であります。アメリカ人はイギリス人程多數の資本を持ち込んでをりませぬ。先づ

五、六億圓程度です。主たるものはスタンダード石油會社とヂエネラル・モーターズ等の自動車會社の二つの事業で之を除いてアメリカ人の支那における仕事として見るべきものはありません。

従つて物の勘定の方からいへばアメリカのやうな大資本國が五億六億の投資の如きは殆んど物の數ではありませんから、この方からの關心は極めて薄い。然し何といつても門戶解放政策といふ看板は既に四十年前にアメリカが出した看板である。この一枚看板を日本が正面から争つて來たとすると、國の威信の問題と考へる譯で、俺の看板を叩き壊したといふ氣持は強いのであります。

處がその門戶解放の看板を掲げたほんとうの腹は何處にあるか。云ふ迄もなくアメリカは太平洋を距て、日本と向ひ合つてゐる。太平洋の西側に非常に強い國が出て來たら、即ち日本が假に支那全部を支配し、場合によつてはジベリア、南洋に行くかも知れないが、さういふ大勢力が出來ると太平洋の勢力の均衡が崩れてしまふ。將來フィリッピン、布哇を取るかも知れぬ。アラスカを取りに來るかも知れぬ。さうなつてからでは時期既に遅い。今のうちに適當な方策を講じて置かなくちやならぬ。かういふことがアメリカの太平洋に對する關心であります。

殊にアメリカ人は支那に對して特殊の關心を有つてゐる。アメリカの宣教師千何百人が支那の隅々まで教會を建て、布教してゐる。支那の相當の都市にはアメリカが大學を建設して支那の青年を教育してをります。米國の大學には年々アメリカの金で支那の留學生を多數に收容してゐる。従つてアメリカ人の考へはいはゞ支那はアメリカの教へ子であるとの氣持であります。この教子が酷く日本から叩かれてゐるといふ状態を見て、アメリカ人の感じがどうしても日本反對の方向に向ふのであります。左様な立場にゐるアメリカがこの事變において日本の大勝利を祈つてゐるか

否か、もとより聞くまでもないことだと思ひます。

七

それから今度はロシアであります。ロシアは滿洲事變の起るまで極東に極めて無關心でありました。滿洲事變の起つた時に極東シベリア、——假にバイカル湖から浦鹽までの線を極東シベリアと申しまして、この地方に僅か三個師團半の兵力しか持つてゐなかつた。處が滿洲事變が起つて滿洲とシベリアの國境は日本の兵力が一面に配備された。そこでロシアはこのまゝでをつたら沿海州も取られるかも知れない等と神經を起して、極東シベリアに毎年兵力を増遣して最近にはバイカル以東に約四十萬の兵力を有つてゐる。飛行機千七百臺、タンク、裝甲自動車合せて千六七百臺、浦鹽要塞には潜航艇七十隻、魚雷艇と稱する小型の水雷艇約八十隻を保有してゐる。滿洲に日本の兵力が配備された丈けでも、これだけの力を極東に注ぐ必要があるとソ聯は考へて來た。然るに今度の事變に當つて日本の兵力が蒙古に入り、陝西から新疆省の境まで出て來やうといふ情勢になつた。シベリアの境が印度の背から支那滿洲に互つて到る處の國境に日本の兵力と對峙しなければならぬことになつたら、シベリア全體はどうなるか。それがロシアの大きな煩悶であります。さういふ眼で見て、ロシアが此事變で日本の勝つことを希望するか否かは聞くまでもないであります。

それから次に佛領印度支那といふものがあります。フランスが有つてゐる殖民地で、廣東、廣西、雲南三省に境してゐます。日本と支那との争が北支に限られてゐた頃は、フランスは未だ火事は遠いと思つて居た。處が事變の進展

に伴つて日本は廣東を攻略し海南島も占領する。海南島は印度支那の鼻の先によら下つてゐる島であります。いよいよもつて火事は近いといふ譯で、昨年以來佛領印度支那に飛行隊を増設したり、只今はカムラン灣といふ港を軍港に擴張すべく既に工事に着手してをります。如何にすれば佛領印度支那が保全出来るか、維持出来るかといふ問題がフランスにとつてかなり重大な問題である。さういふ心配を有つてゐるフランスがこの上、日本に勝つてくれと思ふか、思はぬか。固より彼等に聞くまでもないと思ひます。

それから南に下つて赤道の下に大きな島が四つ五つあります。ボルネオ、ニューギニア、ジャバ、スマトラ、セレベス、これらは和蘭殖民地であります。オランダ本國は小さな國でありますけれども、蘭領印度は本國の六十倍の面積を有つてゐる。この島々は石油も取れる。ゴムも豊富にあります。その他の礦物もあり穀物も取れる。全く豊富な殖民地で、オランダの今日あるのは専ら蘭領印度のおかげであります。この島を失つたらオランダはべしやんこになつてしまふのであります。

處が日本國內には南進論といふ議論が相當強い。日本は南に進むといつて新聞に書いたり、雑誌やパンフレットに出してゐる。日本から眞つ直ぐ南に行つたら厭でも蘭領印度に打つかる、さてはいよいよ日本が俺達の寶庫をねらつてゐるといふので、四五年前からオランダは東印度の防備に着手し、潜水艦隊を作つたり、飛行隊を増設してをります。然しオランダ人は馬鹿じやないから、日本と戦争を初めたら誠立ちしたつて到底勝てないと知つてゐる。結局どつかに纏るより仕方がない。頼めばイギリス位のものだ。幸ひ蘭領印度に近くシンガポール軍港がある。昨年二月竣工したものであります。イギリスが十年間かゝつて三億七千萬圓の金を投じて作り上げた軍港でありますから、自

ら稱して東洋第一の軍港と誇つてゐる。そこでシンガポールと蘭領印度と濠洲を繋ぐ線によつて日本の南進を防がうかういふことがオランダ及びイギリスの間に協議されてゐるやうであります。

オランダの新聞には幾ら日本でも日支事變の眞つ最中にまさか此處まではやつて來られないだらう。然し支那事變が済んだら今度はこつちへ來るだらうと書いて居ります。さういふ氣持で見つてゐるオランダ人が、日本に對して同情をもつて見てゐるか、どうかは聞くまでもありません。

斯の如く極東に關係のあるアメリカ、イギリス、ロシア、フランス、オランダ等の腹の中を考へて見ると、どれもこれも、皆日本があまり大勝利を占めることは自分の國の算盤が取れない事になると見てゐるので、利害關係の上から彼等が日本の勝利を希望せず、支那に對して直接間接に同情を表してゐる理由であると思ひます。

八

第三の理由は宣傳の問題であります。成程日本は戦争には丸勝である。然しながら第三國が日本に對してどういふ氣持で、どういふ態度を取るかといふことは宣傳の上手下手によつて定ることが多い。處が宣傳の戦争においては日本は丸負けであります。

元來日本人は宣傳事業は極めて不得手であります。第一、教育からして宣傳をするやうに育てられて居りません。日本では自分の口から自分のことを言ふことは卑しいことだと考へられてをつた。日常生活でもその通り、朝から家内中總がかりで御馳走を作つてお客を呼んで置きながら、何と挨拶をしますか。何もございませんがどうぞ召上つて

下さい』といふ。外國なら恐らくさうはいはない。『今日は一生懸命で御馳走を作つた、どうぞらんと食つて行つてくれ』と言ふに違ひない。隣のお客が来て、『御宅の奥さんは何時も若くて誠に綺麗です』と御世辭をいふと、亭主は内心得意であり乍ら、『どうも宅の家内は鼻べチャでございまして』と言ふ。外國人ならば、恐らく『さうかお前もさう思ふかね』といふでせう。日本人は教育からして既にさういふ風に違つてゐる。自分の口から自分の事を自慢していふのは先づ保險會社の外交員位のものでありませう。

そこで本來宣傳が下手であるのみならず、いよ／＼宣傳に取りかゝるとなると、日本の立場は支那に比べて非常に不利益である。何故不利益であるかといへば日本の宣傳は理窟をいつて歩くより外にない。つまり『日支事變は日本は決して希望しなかつた。事變を起さうと思つてゐなかつた。やむを得ざる事情によつて戦争になつたのだ。その理由はかういふ譯だ。然しこの事變が終結に到らば日本は領土を取らず、賠償金を取らず、東亞の新秩序といふ計畫によつて平和を確立する』といふ如き理論を説くのであります。

處が支那人は理窟抜きで感情に訴へて歩く。さういふ材料は支那國內到る所どころがつてゐる。戦争は支那で行はれてゐるのでから、街が焼けたといへば支那街です。爆弾が投下されたと云へば支那の街です。人が死んでゐる、支那人だ。だから例へば映畫を撮つて歩けば何處にも外國人の同情を集める種は幾等でもある。日本にはさういふ種が非常に少い。偶に映畫を撮つても南京陥落、徐州攻略、これを映畫で見ると日本軍が支那の城壁に突立つて日の丸の國旗を掲げ、萬歲々々と叫んでゐる。幾ら外國人に見せても日本は氣の毒だといふ奴は一人もありません。それだからどうしても外國人の同情に訴へる材料は少い。然るに理窟をいふ宣傳と感情に訴へる宣傳とどちらがピンと来る

か、かういふことは皆様方には釋迦に説法でよく御了解のゆく問題であります。

私は選舉を二三度やつた経験からしても、よく判る。選舉演説會に行つて理窟を云つてもだめです。『私は斯様かく／＼の政策によつて日本の將來のため貢獻したいと思ひます』なんていつても有権者はついて來ない。然し泣き落としといふ手は強い。首に纒帯でもして、理窟等はいはない。『私は一生の思出に、今一度、議政壇上に起つて御奉公致したいと思ひます。どうぞ皆様の特別な御同情によつて清き一票を與へ下さるやう只管お願い致します』と、聲涙共に下る顔をして見せると、まああれ程に頼むのだから一票やらうかといふことになる。結局、日本のやうに理窟ばかりいつて歩く宣傳は、どうしても泣き落しのために封ぜられるといふのが實狀であります。

今申し上げた例は事變による俄か作りの宣傳の問題であります。國の宣傳といふ仕事は恰度雨だれの霽が石に穴を開けるやうな、目に見えぬ努力によつて永い年月かかつて始めて効果があります。非常に困難な仕事で、今まで日本はこの方面に手が伸びて居らぬ。偶と手が伸びてをれば悪い宣傳ばかりが伸びてゐます。

簡単な一例を申し上げます。現在支那において實業界、或は政治界に働いてゐる第一線の人々の多くは外國の大學教育を受けた支那人である。或はアメリカの大學、英佛の専門學校、日本の士官學校、専門學校等で學んだ支那人が大多數であります。さういふ支那人の間にどういふ現象が現はれてゐるか。アメリカに育つた支那人、英佛で育つた支那人は一生を通じてアメリカ最負、英佛に同情を有つてゐる。日本の留學生はどうであるか。無論中には所謂知日派といふものもありますが、大多數は蔣介石を初として日本に留學したものが支那に歸ると排日派の先頭に起つて旗を振つてゐる。無論それには日本と支那と政治上の立場の違ふことも大原因で、一概に申されませんが、矢張りお互

日本人同志が考へなければならぬ問題がそこにあると思ふのであります。

これはどういふ譯であるか。アメリカに留學してゐる支那人は、大學街に滞在してゐるうちに何時とはなしに、婦人會の幹事とか、主婦さん達と知合になる。『若い支那人が親許を離れ、勉強に来てゐるが、淋しい日もあらう。今夜は家で御飯を食べて行きなさい。今日は家でお茶を飲んで行きなさい。』といふ風に一寸した親切が身に沁みる。それを彼等は一生忘れない。ほんとうに外國に行つて居つて外國人の温かい氣持は嬉しいものです。日本の留學生は神田か牛込邊りの下宿屋にころ／＼してゐる。下宿屋の女將さんが因業だと申す譯ではありませんが、『まあ彼は支那人だから少々洗濯代を誤魔化しても判りはすまいと絞れるだけ絞る。街に買物に出ると腕白小僧が『やあチャンコロ』といふ、三四年日本に留學してゐて會て一日も温かい氣持に觸れない。むしろ悪い感情を抱いて歸つて行く。神戸を發つ時に、この恨は何時か晴らしてやると悲壯な決心をする支那人もある。無論支那の排日抗日は共產黨の宣傳に乗つてゐる點もあります。また支那政府の政治的工作に利用されたこともあります。然しその一部の原因は日本人自らが播いてゐる。今日迄の吾々の態度は、これ程下手な宣傳はなかつたと正直に認めなければならぬと私は思ふのであります。さういふ宣傳の結果が、日本の立場をある程度まで困難にしてゐることは間違ひない事實であります。これが第三の理由であります。

九

それから第四の理由は思想的立場であります。今の世界には色々の理由から強國が或は對立し、或は接近して争つてゐる。この世界の對立は何から起るか。根本の原因は利害關係を異にするものが相争ひ、利害を一にするものが接近するといふことでありますから、如何なる時代においても國家の對立抗争は利害關係を基礎にしてゐる事は間違ひない。處が近年世界にはその他に特別な現象が現はれてゐる。それは、思想的に對立して行く傾向が國內において激しくなり、その國內の思想的對立の現はれが國際關係にまで影響を及ぼしてゐるといふ事實であります。

例へばドイツとイタリーの兩國が國際的に共通の利害關係を有つてゐるかといふと、必ずしも利害を一にしてをりません。にも拘らず今日の如く接近してゐるのは要するにムツソリーニとヒットラーの思想的類似點が頗る多いといふ事實であります。かういふフアツシヨの國においては國內政治關係からいつて、思想的に相容れない國と手を握ることは出来ない。何れの國においても思想的對立は相當顯著に現はれてをります。ドイツやイタリーやロシアの如き獨裁政治の國においては國內の思想對立を表面に現はささない。政府が力を以て反對黨や反對思想を抑へるからであります。けれども抑へない國においては思想的對立は自由に表面に現はれてゐる。フランス、イギリス、アメリカその他多くの國に於ては、大なり小なり國內における思想的紛争が形の上に現はれて來てゐる。

十

其處で何故近代の歴史において獨裁政治が再び盛んになつたか。ロシアの共產黨をはじめドイツ、イタリーその他にもこれに近い例は澤山あります。何故斯様な現象が近年になつて著しく現はれたかを考へて見て、私はかういふ風

に思ふのであります。十九世紀以來の立憲政治、議會政治主義は要するに妥協政治で、多數黨が少數に妥協して行く政治であります。少數だからこれが權益を絶対に認めないといふ譯ではない。多數のものが少數の利害を考慮しつつ適當な處で妥協してそれで纏めて行くのが本來の立場である。然し双方の立場があまりに甚しく懸け離れてゐては妥協は出来ない。キリスト教に佛教と妥協しようと云つてもうまく行かぬ。お釋迦様とキリストをどつちも折衷して半分宛くつつけやうといつた處で妥協出来るものぢやありません。只利害關係が違つてゐる場合はどつかで妥協が出来る。百萬圓の物を五十萬圓で買ふといふ問題なら七十五萬圓で妥協が出来る。處が近年社會的變革、戰爭による思想的混亂の結果、多數の國內において左翼と右翼の對立がだん／＼激しくなる現象を呈して來たのであります。

現にロシアを見てもその事は判ります。ロシアは帝政時代極端な右翼であつた。然るに反對の共産黨が起つたので帝政時代には力を以て左翼を抑へた。今度は左翼が強くなると共産黨は武力を以て右翼を抑へる。武力で抑へながら統一がつかない。あまり議論が極端に分れてゐる結果妥協が出来ない。ドイツもさうである。ヒットラーの出る前のドイツ共産黨は國內に五百萬以上の投票を得て遠からず共産黨の天下になるかも知れないと思はれた程であつた。其際にヒットラーが政權を握つて力を以て反對を抑へた。イタリアもその通りです。そこで立憲政治、所謂議會政治が圓滿に行はぬため國內の思想的對立が極端になつて來て、議會政治が事實上行はれない。これが近年獨裁政治が世界に勢力を占めて立憲政治が微力になつて來た主なる原因と思ふのであります。

十一

何故ならば大陸方面においては獨裁政治の思想的對立が激しく、イギリス、アメリカのアンダロ・サクソンの國において案外に思想的對立が激化しないかといふ理由についても、お話したいのですが時間の關係で省略します。

只さういふ時に思想的對立の激しくなつてゐる甲の國の右翼と乙の國の右翼が案外仲良くなる。甲の國の左翼と乙の國の左翼と手を握ることが出来る。國境を越え、お互に同情を有つ。聲援を與へる。其處で假にフランス内閣が左翼の場合、お隣の國の右翼と妥協することは困難であります。フランスの政權が右翼に歸した時、隣の左翼と接近することは出来ません。その理由からムツソリーニとヒットラーは、思想的立場で一緒になる境遇に立つた譯であります。

この獨裁政治の二國が密接に手を握るのを稱してベルリン、ローマ樞軸といひ、反共産主義樞軸といつて居ります。日本は思想的に何處にゐるか。所謂日獨防共協定、(今回の獨ソ不可侵條約の成立で現在情勢は變つて居りますが。編者)日伊防共協定によつて共産主義反對の陣營に入つた。これを外國から見ると日本もドイツ、イタリア流のファツシヨになつたといふ風にレッテルを貼つてゐる。日本國民は日本の獨裁政治を承服する譯には行かない。平沼總理が議會で繰返し言つて居られる。『日本はドイツ、イタリアの如き全體主義國ではない。日本は日本固有の道、皇道精神によつて進むのだ』といつてをられる。この皇道精神は萬民輔翼であるといふのが平沼さんのいはれる帝國々是であります。私は詳しくは存じませんが、少くとも日本がドイツ、イタリアの全體主義國家でないといふことは信じていゝと思ひます。日本は勿論さう思つてゐるが、外國ではドイツ、イタリア、日本は同じ種類の國家といふことになつてゐる。これに對抗する民主主義國家がどういふ理想の上に出来上つてゐるか。イギリスでもアメリカでも今日の

政治組織の出来たのは獨裁政治に對する戦争から生れ、イギリスはクムエルの獨裁政治と戦つて自由主義の憲法を戦ひ取つた。それは彼等の信念であり、彼等の所謂政體であり、國體である。處が獨裁政治が出て来たといふのだから國民の多數が獨裁政治に對する反感をもつようになった。こゝに於て英佛が接近し、最近はアメリカがこれに入つた。これを稱して民主主義團結、デモクラシー・ブロックと稱してゐる。今の世界に對立してゐる大きな系統は反共團と民主主義陣營であります。

そこでヨーロッパに行つても、アメリカに行つても、支那人は巧にこれを捕へて宣傳してゐる。ヨーロッパではスペインの革命が起つた。スペインの革命は二年八月も戦争を續けて、まだ最後の解決に到着しないけれども、あの革命戦争は今までの革命と多少趣が違ふ。何處が違ふかといふと革命の起つた當時スペインの政權を取つてをたつたのは所謂人民戦線と稱するものであつた。人民政府に對してフランコ軍が革命の旗を翻へした。このフランコ軍を眞つ先に援けに來たものはイタリーと、ドイツであります。

イタリーは一時七、八萬の軍をスペインに遣つて、フランコ將軍の援けた。ドイツも兵隊の數こそ二三千でありませんが、兵器においては飛行機、タンク、高射砲等あらゆる武器をフランコ軍へ供給してこれを援けた。政府方を援けてゐるものはソヴェット聯邦で、スペインにファツシヨ政權が出来たのでは大變だと兵隊武器を供給して人民戦線政府を援けた。さうして相對立するものは、政府軍、革命軍といひますが、實際やつてゐるのは政府軍の中には多數のイギリス、フランス、瑞西其他の人間が加はつてゐる。所謂イギリス、フランス國內にファツシヨ反對の空氣が強いのでありますから、ファツシヨ反對を理由に義勇兵がマドリッドに馳せ集る。だから戦争は革命戦争だが、連中の顔

觸は世界戦争の見本をやつてゐるような状態であります。

そこで支那人は云ふ。一寸東洋を見て下さい。スペイン革命と同じことを東洋でやつてをります。一方は日本、一方は支那、日本を支持するものはドイツ、イタリー、我々を支持するものはイギリス、フランス、アメリカ、ソヴェットといふファツシヨ反對勢力です。故に支那事變は今までの戦争と違ふのだ。今度の支那事變は支那の民主主義と日本のファツシヨとが喧嘩してゐるのです、といふ説明をして歩くのです。

ニューヨークに行つてもこの頃支那も宣傳はだん／＼上手になつて、日本の悪口を初めからいふやうな宣傳はあまり行ひません。思想對立といふことを強調して行く。私は一昨年十一月ニューヨークに行つた。その時は王正廷が支那の大使でありましたが、そこで彼のラヂオ講演を聞いた。彼の云ふことは『支那は孫逸仙の三民主義によつてアメリカ、イギリスの政治を眞似て若い共和國を作つた。蔣介石の力によつて支那の統一は略々完成したと思つた時に、日本はファツシヨになつてこの若い支那の民主主義を叩きに來たのです。今度の戦争は今までの戦争と種類が違ふ。アメリカ人のやうな建國以來世界に榮ある民主國として、支那に同情を有たれることは固より當然のことでありませぬ。』かう云つて引下る。さういふ説明がアメリカ民衆の頭に非常に入り易い。この次に日本人の話を一寸頼むといふので、私が引出されて、紐育で放送講演を行つた。私が云つたことは『アメリカの諸君はいろ／＼と日本の話を聞いてをられるでせう。ニューヨークに來て誠に珍らしい話を私は聞いた。日本が獨裁政治で支那は民主主義國だといふ御断を聞かされたが、アメリカの諸君は一度日本に來て御覽下さい。東京には、近年目抜の場所に立派な建築が出来ました。ワシントンの議會にも肩を並べることが出来るやうな建築物です。これを帝國議會といふ。世間では兎角批

評をしますが、日本ではこの議會で協賛を與へない限り、税金一文も取る譯に行かない。一行の法律と雖も出す譯にゆかぬ。議會は國民の代表であるから、時々政府は議會を解散することがあります。議會の解散とはどういふ意味であるか、國民の意向をきくといふことに違ひない。然し支那で蔣介石が議會を解散したといふことをお聞になつたことがありませんか。蔣介石が總選舉に出馬したといふことを新聞で讀んだことがありますか。蔣介石が政權を取つてゐるのは蔣介石自身の軍隊が誰の軍隊より強かつたといふためである。蔣介石の番頭や乾分が地方の省長となつてゐる。あんな立派な獨裁政治の見本は世界中捜したつて一寸見當らない。『それから支那に行つて御覽なさい。十何萬といふ日本人が支那に行つてゐる。皆平和な日本人である。その平和な日本の商人が毎年殺されたり家を焼かれない年はなかつた。處が日本には事變後の今日と雖も横濱大阪方面に何千人も支那人が住んでゐる。が、皆日本人と同じやうな手厚い保護を受けて、全く安樂な生活を営んでゐる。どつちの國民が文明的で、どつちが野蠻であるかといふことが判る筈である。』といふやうな話をしたのであります。

然しながら支那の宣傳の力はかなり行きわたつてゐるのであります。日支事變は曲直がどつちにあるか知らないが日本には遺憾ながら思想的について行く譯にはゆかないといふ人間がかなり各地にある。私はパリに行つて感じたこととであります。ある日タクシーに乗ると運転手が私の顔をつく／＼眺めてゐる。御覽の通り土色の顔色をして鼻が顔の真ん中にあぐらをかいてゐるんだから、どう見ても日本人に間違いないと思つたか、『日本は大變なことでしたな、』といふ。私にはどういふ意味で云つたか判りませんが、恐らく日本が敗けてゐると思つたらしいから、『日本は敗けちやゐない、勝つてゐるぞ』といつたら『戦争のことちやありませんが、日本は最近ファツシヨになつたから、勞働階

級が相當酷くやられて居るでせう。貴方もかなりやられてゐるのでせう。』と云つて、誠に同情に堪へぬといふ顔をしてゐる。そこで『どういふ譯だ、さう云ふ事實を學校で教へるのか』と聞いたたら、學校じや習ひませんが、新聞に書いてありましたから多分ほんとうでせう、といふのであります。

この僅かな例を以てお考へになつても世界が日本に對する認識がどんなものか大體お判りにならうと思ひます。殊に今の世界のやうにイデオロギーが對立してゐる結果、思想的の立場から支那に同情し、日本に反對するといふ風な傾が強い。ドイツ、イタリーでは日本に同情を有つものが多いが、これに反してフランス、イギリス、アメリカでは思想的立場から日本に賛成出來ないといふものが、かなり多いのであります。これが第四の理由であります。

十一

そこで、問題は結局東亞の問題になる譯であります。この邊で廻り途をしてヨーロッパのことをお話ししたいと思います。ドイツと日本との關係、及びドイツの今後の動向を最初にお話し致します。

御承知の通り廣田内閣の際出來た日獨防共協定といふものは、ドイツと日本が共產主義反對の態度を明かにして、その宣傳に對抗するといふ趣旨で出來上つたものであります。政治條約でもありませんし、また軍事協定でもありません。結局思想協定であるといふのが、出來てをります。

従つて本質的には共產主義に對する示威運動であると思ふことが當つてゐると思ふ。然るに防共協定が出來て間もなく日支事變が始まつた。日支事變に對してドイツは如何なる立場に立つたかといふと精神的には日本と相携へて日

本を支持する立場に置かれた譯であるが、日本を支持する實際上の利害關係から見ると、ドイツは非常に困つた境遇に置かれたのであります。

三〇

これは下の如き事情であります、大戦後ドイツは支那に對して通商の發展にかなりの努力を拂ひました。支那と眞つ先に平等條約を結び、ドイツの專管居留地を支那に返して對等の條約を結んだ。その代償として貿易の發展の上にならざるべき成績を擧げて来たばかりでなく、軍事教官としてもフォルケンハウゼン將軍を教官兼頭に指導者二十餘名も豫備教官が支那政府に顧問として雇はれてをつた。多數の技師が南京政府の顧問としてドイツから出て来る。貿易額においても事變前、支那との商業においてアメリカについてドイツであり、日本はその下に立つといふ程に獨支貿易は伸びてゐたのである。其處でドイツの政治家は共產黨に對する牽制策としても、蔣介石を助ける方針であつた。蔣は近年全力を擧げて共產黨討伐に従事してをつたのであります。事變以前蔣介石は明白に共產黨反對の旗を掲げて共產黨討伐をやつて来た。そこで支那の軍隊がドイツの教官の手によつて再組織され、獨支が接近し得るならばソ聯邦を牽制すべき有力な力になる。ドイツがそれをねらつてゐたことは略々間違ひないと思ふのであります。

處がこの事變が始まつて最も貿易上打撃を受けたのはドイツであります。昭和十一年にはドイツの支那に對する貿易は六割一分減じてゐる。また日本に對する情誼の上から多數の軍事教官及び顧問を支那から引揚げることになつた。然も今日になりますと蔣介石は共產黨の勢力に押されて國民政府の中心勢力が共產黨的色彩に變つて來るといふ情勢になつた。だから日支事變に對するドイツの立場はかなり苦しい。この點は十分日本としてもドイツの境遇に同情しなければならぬのであります。

十三

次に支那問題を離れてヨーロッパにおけるドイツの動向はどうかといふ問題を考へて見ますと、ドイツはヴェルサイユ條約によつて作り上げられた不利益なる境遇を一日も早く脱却せねばならぬといふので、昨年末すでにドイツの努力は専ら不公平なるヴェルサイユ條約を廢棄し独自の立場に返へす所謂水平運動に終始してをつたのであります。昨年以來初めてドイツの世界政策と稱するものの片鱗が現はれて來た。オーストリーの併合。チエツコのズデーテン問題解決等、これはヴェルサイユ條約の範圍を越えてドイツの膨脹政策に乗出した一歩であります。

然らば今後どういふ方面に動くか、ドイツの動向如何によつてヨーロッパの治亂が定る。何と云つても今日の和平を決するものはドイツ、イタリーの動向であります。この兩國が當分現状のまゝ満足するか。あるひはこれ以上に力を以て突き出すかといふことが和平を決する譯である。ヒットラー自身の考へ方はドイツ民族が安全に強國として維持されるには人口においても國內資源においても相當大きな分量を抱擁しなければヨーロッパにおいて大國たる地位を得ることは出来ない。人口は既に相當な數に達して今日食糧を自給することが出來ず、多數の原料品の缺乏を感じてゐる。この問題を解決しなければドイツは安心出來ない。かういふ考へであります。

戦後著しく疲弊したドイツを元の地位に取戻すことは過去十年間のナチスの努力によつて案外早く出來ました。今日ドイツの困つてゐる問題は第一は原料品の獲得問題、第二は爲替資金即ち金準備の問題であります。ドイツのやうに代用品工業が盛んな國においても代用品工業だけではまだ國內需要を充たすに足りません。例へばガソリンのため

には石炭液化の工業を興して、年産百五十萬噸に達してゐる。又人造ゴムを造り、人造纖維を造つてゐる。けれどもこの代用品工業だけでは國內に必要な原料を得ることは出来ません。食糧の如きもヒットラーが天下を取つて以來極力國內自給を企てた結果、今日では大體八割近くまでは國內生産を以て人口を養ふ程度になりましたが、それでもまだ外國から食糧を輸入しなければ自給自足の域に達して居りません。また鐵の生産も近年増額してをりますが、一年の統計を見ても必要な分量の約半數しか國內では供給が出来ないのであります。棉花、ゴムその他外國から多數の原料を輸入しなければならぬ事情にある。そこで自給自足の原則の上に立ちながら、一面外國と物々交換の制度によつて生産品を輸出して、原料品、食料品を外國から輸入するといふやり方で今日に到つてゐるのであります。

それにしてもドイツの多數の國民が生活して行くにはどうしても外國貿易に依存することが非常に多い。國內人口が多いといふ場合にはその勞力を金に替へて生活することが一番簡單で、ドイツの如く八千萬の人口を擁して居ながら食糧が足らず、原料が足りない國は勢ひ外國貿易に依存して國內工業勞力を金に替へるといふ他に行く途はない。處がドイツの困つてゐることは爲替資金が不足してゐるといふことである。國內の貯藏の金は正確なことは判りませんが、先づ日本の金準備より遙に少い。大きくいへば殆んど金櫃は空になつてゐる。といふ情勢であります。そこでこれらの原料品を手に入れるにはどの方向にゆけばいいか。無論西の方にはフランス境に鐵礦がある。石炭坑がありません。ベルギーがあります。然し此方面は抵抗が多い。一番抵抗なくして容易に出来ることは東及び東南に進むことである。これがヒットラー年來の考へである。そこでドイツの將來は東方にあるとヒットラー自身の書いた『我が戰』と稱する本に書いてある。東方とは何處を指すか、東方にはポーランド、北にバルチック海に面した小國がある。そ

れから南方にチェッコ、ハンガリー、ルーマニア。それらの國を距て、老大なソヴェット聯邦がある。ドイツがどの方面をねらつてゐるか。恐らくロシアの南方のウクライナと稱する方面だといはれてゐる。このことはナチス黨派の智囊といはれてゐるローゼンベルグといふ男の書いたものにはつきり出てゐる。ドイツ人はポーランドから黒海に通ずるあの廣大な土地において原料品を獲得し、コーカサスの石油を手に入れなければならないと書いてある。その下準備としてオーストリーを併合し、チェッコの問題を解決したのだと見られてゐる。

昨年九月の末遂にミュンヘン協定によつてイギリスも大體ドイツの動向に見極めをノけたのだと斯様にいはれてゐる譯であります。

然らばドイツが如何なる形で、何時東の方に出るかといふ問題になると、恐らくヒットラーは大戰爭を賭してこの仕事に手をつけやうとはしまい。戰爭をしないで手に入れることをねらつてゐるだらうと見られてゐる。戰爭しないでどう手に入れるかといふと、それはポーランドの南とロシアの南方に約四千萬のウクライナ人がある。ウクライナ人とはスラブ人種でロシア人に非常に近い。スラヴ人は大ロシアと小ロシアと分れて、其間に多少の差異があります。仙臺と鹿兒島の差異でありませう。ドイツが其處をねらつて、ポーランドの一部にロシアの南部、ルーマニアの一部、チェッコの東南にあるルチニアを併せてウクライナ共和国を作つたなら、約四千萬の人口を包含する相當大きな國となる譯であります。これをドイツの同盟國として自由にドイツの手が加へられるやうな形にする。恐らくこれがドイツの將來ねらつてゐる處だらうと推斷される譯であります。

そこでイギリスはどう考へてゐるかと思しきと、勿論イギリスの政治界でも意見は分れてゐるが、チェンバレン總理大臣はどう考へてゐるか。チェンバレンはドイツが大陸で覇権を握ることは誰の力を以てしても抑へる譯にゆかない。そこでドイツが東に行けばその時は必ずロシアと大戦争が起る。現にドイツはフランス、イギリスと約束によつて西の方で戦争しないと宣言してゐるのでありますから、西の國境は安全にして置いて東に行かうとする。東に行けばロシアと衝突する。ロシアとドイツの戦争が初まつたら日本がその中に入るか、どの途戦争は相當長くかゝる。戦争に勝つて見た處でドイツは相當精力を消耗するのだから、英佛にとつて大きな危険は當分ない。西の方は安全だドイツは東に伸びる、英佛は軍備を充實しつゝ當分見てゐやう。かういふのがチェンバレンの考へであります。

處がイギリスの中にもチェンバレンの議論に反対するものが相當數あります。チャーチルの如きは始めから反対である。イーデン元外相も反対である。フランスは必ずしも喜んでゐないが、現在の處ではまだドイツと戦争するだけの準備が整つてをりませんから、當分チェンバレンの政策についてゆくが、ドイツの大きくなるのに無關心ではあり得ない。チェンバレンに反対の政治家のいふことは『成程ドイツは今西に出ない。東にゆくことを専ら努力するだらうが、將來東方で豫定通り土地を手に入れたら、又昔のやうに強力な海軍を作り、商船を作り、そして今度はイギリス、フランスを向ふに廻して争ふといふ事態がその中によつて来る。要するに時間の問題だ。さうなつてしまつたらイギリス、フランスはドイツを抑へることは逆も出来ない。』と云ふのです。

ドイツの弱味は國內資源の乏しいといふことである。戦争は資源の關係で長期戦は出来ないといふことである。處が東の方で莫大な資源を得てドイツは長期戦が出来ることになるのぢやないか。さうなつたらドイツを抑へることは困難であるから、チェンバレンの如き説は將來危険であるといふ論據から出て来る論であります。

イタリアはドイツがオーストリーを併合した時に片唾を呑んで見てゐた。イタリアはヒットラーと友邦の誓をした譯で、どうする譯にもゆかない。引續いてチェッコ問題が起つた。イタリアが援けたといふ形跡はありません。ドイツが獨りで断行したのであります。イタリアはドイツに反対する譯にはゆかないからつて行つた。『今度は俺の番だ。二度までサーピスをやつた。この邊でイタリアは何とか甘い汁を吸ふ順番になつた』と考へる。そこで、イタリアは地中海の對岸にあるチュニス、それからコルシカ島をフランスから戦争をせずに取りたい。然し戦争をするとなるとドイツの全面的支持を得て、西國境の英佛を壓迫しない限りイタリアだけの力ではフランスは譲るまいと見てゐる。イギリスは地中海の情勢に重大な利害關係を有つてゐる。假にイタリアがフランスと争ふ時には終局は、イギリスはフランスを援助しなければならぬ。はつきり援けると聲明してゐる。だから餘程ドイツが本氣になつて英佛國境を壓迫しない限りイタリアがねらふ目的は達成されない。それをどう解決するか。イタリアが果して斯様な要求を出すかどうかまだ判りません。

今年の一月初旬にチェンバレンがローマを訪問してムツソリーニと内談した時には、容易にイタリア側が納得しなかつたといふので、イギリス、イタリアの間には協定が出来ずにチェンバレンが引揚げた。さういふ點を以て見ると何かイタリアの胸中に一物があるといふことも考へて置かなければならない。近くムツソリーニが演説すると報ぜら

れてをります。その演説でフランスに對する要求をはつきり出すか、出さないか。出せば問題は相當厄介になるだらうと期待されます。従つてヨーロッパは今でも安心が出来ない状況でありますから、ヨーロッパ強國は一生懸命に軍備擴張をやつてゐる。殊にドイツ、イタリアは英佛に先んじて國防を強化した結果一と足前に行つてゐる。就中ドイツの航空兵力がイギリス、フランスを凌いで強くなつてゐることがドイツの強身である。そして英佛の煩悶の種であります。

十五

イギリスは二三年前からその事に氣がついたのですが、そこはイギリス人一流の呑氣な考へ方で、ドイツだつてさう急に軍備の大充實が出来ると高を括つて見てゐるうちに、調べて見るとドイツの航空兵力が非常な速力を以て充實されてゐることが判つた。氣がついた時はもう遅い。今から四年ばかり前に總理大臣ポールドウィンが議會の演説に『英國國防の第一線はライン河にある』と申した。この時はドイツが軍備充實に着手してをつた時であります。その演説後二年を経て漸く英國は國防五年計畫に着手し、一昨年七月から本格的軍備に着手した。この國防豫算は五年間に約二百六十億の金を使ふ。一年に五十何億の軍事費を使ふといふ大袈裟なものであつたが、昨年から更に豫算を増し、今年の七月から軍事豫算は殆んど倍額の九十八億といふ國防費を使ふことにした。この金額は日本の昭和十四年度の豫算と支那事變費全部合せて百億であるのに、イギリスはそれだけの金を國防費に使ふのですから、イギリスの國防充實に邁進する決心が判らうと思ひます。

今までのやうな時代ならイギリスは海軍さへ持つてをれば國防は安全だと考へた。ナポレオン時代にイギリスに手をつけられなかつたのは、イギリスの海軍の力である。處が近代の如く飛行機が発達して来ると英佛海峡は僅か二十四哩しかありませんから、ドイツ國境からロンドン上空を襲ふに一時間足らずで着きます。二時間もあればロンドンに灰にならうといふのですから、イギリスが驚く譯です。英國は約二億磅の豫算を以て空軍を擴張してをります。大體目標は第一線の飛行機五千臺といふ處に置いてある。それだけの飛行機を出來るだけ早く調へなければならぬ。飛行機の力を充實するといふ事は相當に大事業である。専門家に聞きますと、假に一千臺の飛行機を戰場に使用するには一年に六千臺の飛行機を出來るだけの製造能力を有たなければならぬといふのだから、かなり老大な飛行機製造工場を有たなければ航空兵力の充實は出來ない。今日の英國は航空機製造工場擴張から手をつける必要がある。又飛行士養成といふことがなか／＼困難な仕事であります。近頃書いたものを見たのですが、大國が戦争を初めて最初の一週間のうちに飛行士の六割は死んでしまふと書いてあります。假に一千臺の飛行機なら、六百人が一週間内に死んでしまふ。その六百人を補充することが大變な大事業である。飛行士といふものは恰度オリンピックの選手を養成するやうなものでありまして、例へば南郷大尉とか極く最近亡くなつた藤田中佐、あゝいふ人は極く稀れに見るスターでありますから、恰度オリンピック選手を掘出すやうにさう數はない。そこで飛行士養成といふことも相當の年月を要し、金を要する。一人の飛行家を作るには先づ頭割十三萬圓の金がかかるさうであります。これは日本の費用であります。

さういふ高い金のかゝる武器で近代の戦争が行はれることになつて來た。そこでイタリアのヅエットといふ將軍の

如きは近代戦は極めて短期に勝負がつくといふ議論を唱へ出した。所謂即戦即決論です。ヨーロッパにおいては専門家の間に即戦即決論が果して實行出来るか出来ないか。論議が數年繰返して行はれてゐる。最近に各國の參謀の到達した意見は飛行機のみだけで即戦即決は出来ないといふことになりました。スペイン戦争を見ても判ります。成程飛行機は爆弾によつて建物を破壊し、地上の部隊を攻撃することが出来る。けれども矢張り戦争の勝敗は所謂歩兵が土地を占領しなければ勝負がつかないことがスペインの戦争でわかります。今度の日支事變でも判つた。日本は航空兵力におきましては絶對優勢で、支那の航空力は殆んど潰滅してゐるけれども、戦の最後の決定はつかない。飛行機だけで決戦は出来ないことが判つたのであります。

然し航空兵力の優勢でない國が戦に勝てないことも明瞭でありますから、各國とも航空機の充實に全力を擧げてゐる譯であります。

十六

これを遠くから見てもアメリカはどういふ頭でゐるか。アメリカは最近數ヶ月來民主主義の團結に加入したやうな形になつて、ヨーロッパ戦争があつてもアメリカは英佛を援けるとはいはないが、フランスへ飛行機を賣り、イギリスへ供給してゐる。アメリカ全體の輿論は戦争が厭でたまらぬ。尤も何處の國にも戦争好きといふ者はありませんが、殊にアメリカは平和論の強い國で、戦は厭だ。然しこの際戦争が起つた時にアメリカは英佛に味方するぞといふ態度をはつきり見せたら戦争は起らない。かういふことが恐らくアメリカ政府の頭であると思ひます。従つてこの際

は出来るだけ新式飛行機の製造を早めてこれを英佛に供給する、かういふ態度に出てゐるのだと思ひます。

それからイギリス海軍の擴張は何を目標にしたものであるかといふ點です。アメリカは英國が相手とする國でありませぬ。ドイツの海軍はまだ何といつても微力である。フランス海軍は既にイタリー海軍を抑へる力を有つてゐる。それなのにイギリス海軍の大擴張をやつてゐるのは極東方面に對する日本の威力に對抗すべく海軍擴張を必要とするといギリス人自身も白狀してゐる。この海軍擴張に依つて一九四二年に到つてイギリスは二十五隻の主力艦を有つ。現在は十五隻である。五十隻の巡洋艦を七十隻に増加しその他補助艦の増加はこれに準じて行はれる譯である。これだけの海軍が出来たらこのうちの主力五隻を東洋艦隊としてシンガポールに持つて来る。イギリスの専門家バイウオターが書いてゐるのを見ますと、これだけの海軍力を以ては到底日本に攻め上つて日本海軍と決戦を行へないことは明白である。然し日本が陸軍の兵隊を載せて南洋方面に上陸作戦を行ふ場合は、この海軍力を以て優に防禦することが出来ると書いてある。更に彼が云ふことは、『英國が日獨伊三國を相手として戦争に入るとは世界戦争の場合で、世界戦争になつたならフランス海軍がイタリーを抑へてくれる。日本の海軍はアメリカ海軍を以て抑へることが出来る』と書いてある。これはイギリス人の御注文であつて注文通りアメリカ海軍が日本海軍を抑へるかどうか。これは一大疑問として残つてゐる。無論世界大戦以後イギリスの政策はアメリカ第一主義であります。アメリカの政策はどんなことでもついでに行かう。アメリカの力を極東に利用しなければ英國の力だけではむづかしい。さういふ見透しを今から二十年前につけて今日までこの政策をやつて来た。そこで歴代のイギリスの總理大臣は任期中必ずアメリカを訪問し、ワシントンに參詣する。自由黨のロイド・ジョージ、労働黨のマクドナルド、保守黨のポールドイン等歴代

の總理は必ずワシントンに参詣する。今度のチェンバレンは今年五月皇帝の御供をしてワシントンにお詣りするといつてゐる。それ程にアメリカを目標に努力してゐるが、偕てアメリカはどうなつたか。最近まで挺でも動かないといふ状態になつてをつたこのアメリカが、一年半以來やゝ動いて來たといふことも事實であります。

アメリカは、御承知の通り世界大戦の時にはウイルソンの指導によつて世界大戦に参加した。何故世界大戦に入つたか、これにはいろ／＼理由もありますけれど、一つはイデオロギーの上から來てゐる。そこで一年半の戦争に全力を擧げて聯合國を援け、四百二十七萬の陸兵をヨーロッパに送つてゐる。一年半の戦で百年間稼いだ金を全部使つてしまつた。恰度大正七年の初に私はアメリカを旅行した當時のことを記憶して居ります。アメリカが戦争に入つてもなくのことです。到る處の街で國民精神總動員運動をやる。今の日本より遙かによく實行されてをつたと思ひますが、映畫館、盛り場に行つても國民精神總動員の話が幕切れに五分間辨士が出て來て話して聞かせます。當時愛國公債を募集する最中で、辨士は戦地から歸つた若いカーキー服を着た兵隊をつれて來て、此のアメリカ青年は何のため命を的に戦争してゐると思ふか。我々アメリカ人はドイツに勝つたとした處で一文の賠償金も取らうと考へない。一寸の土地を取らうとも思つてをらぬ。然しヨーロッパの状態を御覽なさい。國際法の原則は遂に力委せに踏み倒されて、唯實力が勢を得つゝある。このまゝでは地球表面の人道も國際法も滅びてしまふ。これを救ふのはアメリカ人の生命である。若い人達が命を的に戦をつゞけてゐる今日、諸君は財布の底を叩いて愛國公債をお買ひなさいといふ。其處でアメリカ人は財布を出して五ドル、十ドル、二十ドルの公債を買ふ。到る處それで國民がついて行く。かういふのがアメリカ人、アメリカ氣質であります。

十七

さて、アメリカは此戦争で莫大な犠牲を拂つたが、戦が済んでアメリカ人はどう考へたか。あれ程の犠牲を拂つても世界はちつとも良くなつてをらぬ。ヨーロッパは元より悪くなつた。何のためアメリカはあれ程の犠牲を拂つたのか。ヨーロッパに欺されたのだ。これから先は誰が何といつたつて、アメリカの關係のない問題のために戦争に入ることとは絶對御免を蒙るといふので、アメリカの輿論が世界戦争後アメリカ孤立主義、アメリカ中立論に傾いて來たのであります。

一九三五年にエチオピア戦争が起つて、悪くすると世界戦争になるかも知れない形勢であつた。だから何とかしてアメリカは、戦争に捲き込まないやうにしようといふので議會で中立法を作つて、アメリカは戦争に捲き込まれることを避けた。その翌年スペインに内亂が起り、又その翌年に日支事變が起つた。日支事變には中立法を適用しなかつた。それはどういふ譯かといふと、中立法適用の結果困るのは支那で、日本は困らないといふことがアメリカの中立法適用を躊躇した原因であります。

それから昨年に入るとドイツのオーストリー併合、チェッコ事件、ドイツのユダヤ人迫害等の事件が起り、極東には依然として日支事變が続いてゐる。さういふ事件が次々アメリカの神経を刺戟した。これを思想的に考へると、かういふことになる。今日のアメリカでは獨裁政治に對する反感が頗る強い。それは、アメリカの傳統的精神に反すると考へるからであります。

今年一月四日の大統領の教書に書いてあります通り、アメリカ人の信念は宗教の自由、言論の自由、多数の輿論による政治組織といふことである。ユダヤ人排斥は宗教に對する挑戦であるとしてアメリカ人の反感を高める。言論の自由を叩き潰し、多数輿論による政治を打壊して平然たる風潮がだん／＼強くなつて來てゐる。處がアメリカ人は獨立以來この自由主義を以てアメリカ人の哲學とし、アメリカ人の日常生活の標準とし、アメリカの政治のモットーにしてゐる。斯様な世界の潮は要するにアメリカ人の最も大切に有つてゐる信念に對する挑戦である。これに對して起上ることは精神的抗戰である。所謂聖戰なりといふ議論である。アメリカがどんなに戰爭を避けやうと努めた處が、否でも中立を守り得ない状態に引入れられつゝある。だから軍備擴張をやるより仕方がない。かういふことが近年アメリカが軍備擴張に非常に拍車をかけた理由であると思ひます。そしてアメリカの輿論がだん／＼動いて來た。先達も新聞で御承知の通り、ルーズヴェルトがアメリカの國防第一線はフランスにありといつたとある。大統領は云はないといつてゐる。私は存じませんが、この言葉は使はないにしても大統領自身の政策は其處にある。何故アメリカの國防第一線がフランスにあるといふのか。アメリカ人にはせるとヨーロッパの全體主義國家が強くなつて、假にイギリス、フランスが潰れたらヨーロッパの自由精神は滅びてしまふ。英佛殖民地はドイツ、イタリアの手に歸するであらう。東洋の日本はこれに呼應して、或は濠洲を取り、或はカナダに進み、悪くしたら中南米に來るだらう。さうなつたらアメリカは極めて不愉快なお隣を持たなければならぬ。その時にアメリカが起ち上つても力が及ばない。その時まで黙つて見てを待つていゝか。かういふのがアメリカの指導階級の考へ方である。それだから議會に國防充實の豫算が出ると餘程膨大な豫算でも議會はこれを鵜呑みにします。

これは今から二三年前の情勢に比べ全く著しい變化である。アメリカ議會は今から五六年前までは政府が軍備擴張豫算を出す度に握り潰す。なか／＼國防充實豫算は通さなかつた。それがためアメリカ海軍は日本、イギリスと條約を結んで海軍勢力の均衡をはかつてゐた。ロンドン條約と、ワシントン條約によつて日本海軍に對して七對十の力を有つことになつてゐたに拘らず、最近まで條約に定めた海軍量は出來てをらぬ。何故出來ない。議會が認めないからです。處が滿洲事變後一九三五年になつて恰度今から四年前に初めてヴァインソン案なる海軍建造計畫が議會を通過した。それは滿洲事變及び上海事變に刺戟された結果と申します。ヴァインソン案によつて初めて條約海軍が出來上ることになつたのであります。

ヴァインソン案は一九四二年に完成することになつてゐる。これだけの海軍でアメリカを守るに足りるといつて來たものである。去年の初めになつて政府のいふことが變つた。ヴァインソン案では逆も守れない。どうしても五・五・三の比率でなくてはアメリカを守れないと云ひ出した。そして昨年一月の議會に五ヶ年計畫海軍擴張の豫算を出して來た。そして十一億五千萬弗といふ海軍擴張充實豫算が出來た。その結果アメリカは合計二十一隻の主力艦を以て日本に對抗する。海軍では飛行機合計三千臺を第一線の飛行機とする計畫である。また今年の議會に出てゐる豫算によると太平洋及び大西洋にわたつて十二ヶ所の空軍根據地をつくり、太平洋に於ては恰度真ん中百八十度の線に沿つた北の方から、アリニューシヤンから南を廻つてハワイの西、千五百哩のミッドウェーに下り、赤道を南に下つてカントン、サモアといふ島々に海軍の空軍根據地を造る案を出してゐる。無論通りませう。只問題になつたのはガム要塞建造費でこれだけが下院で削除され、目下上院で審議されてゐる。通るか通らないかはつきり判りませんが……現在アメリカ

海軍は演習のため大西洋に行つてをります。遠からず全部また太平洋に歸つて来る。アメリカ海軍は誰を目標してゐるか。イギリスと戦争しない決心である限り、アメリカ海軍は専ら日本に備へてゐると見る他はないと思ふ。然らば戦争をする氣か。日本と戦ふ積りか。私はイギリスもアメリカも武力で日本と戦ふ決心はしてゐないと思ひます。無論將來日本の方からイギリス、アメリカの土地を侵略するといふ場合が起つたら否でも應でも戦に應じて来るでありませうが、斯様な状態の起らない限り、日本と戦ふ決心はしてゐない。アメリカ人もイギリス人も戦争したら犠牲が大きくて大變だ。然し海軍、空軍をどん／＼強くしていつたら、日本もやむを得ず、海軍、空軍の擴張に一所懸命になるに違ひない。さうなつたら金の競争だ。建艦競争は金の競争で、金の競争になつたら俺の方が金があるから勝つかういつたやうな考へ方だと思ふのであります。

そこで速巻にして置いて軍備競争で長年日本を相手にやつたら、そのうちに日本が閉口垂れるだらう。これには蔣介石を少しづつ援助して相手にして置く。そして支那がこゝ何年か日本を相手に戦争する。それでもなほ日本が参らなかつたら必要な品物の賣止をやる。場合によつては日本の品物も買はない。日本の貿易は御承知の通り英米兩國を併せて輸入においては六割二分を英米から買つてゐる。日本の輸出貿易は、其の五割三分を英米兩國に賣つてゐる。商賣が止つたら半分以上になります。これなら日本はこたへるだらう。かういふ風な目算を置いて來てゐるものと思ひます。

十八

處で日本ではイギリス、アメリカを別々に扱つてゐる。イギリスには辛く當つてもいゝ。成るべくアメリカとは仲良くして行きたいといふ。實際問題として出来るかどうか。私はできないと思ひます。何故出来ないかといふと時期がもう遅いのであります。アメリカの輿論はあゝなつてしまつた。今日日本が使ひ分けをしやうとすればする程外國の新聞、雑誌で日本は英米使ひ分けをしてアメリカと親善、イギリスに強硬に行つてゐるとはやし立てる。今からこれをやることは非常に困難である。のみならず支那における英米人は大體利害を一にしてゐる。何時でも共同戦線を張つて日本に向つてゐる。昨年以來著しい現象は極東問題はアメリカが先頭に起つて日本牽制に當る。イギリス、フランスがこれについて行く。ヨーロッパ問題はイギリスが先頭に、フランスがこれにつき、一番後からアメリカがついて行く。かういふ形でやつて來てゐる。假に日本とイギリスの間に戦端が開かれたと假定して考へて見ますと無論香港は忽ち取ることが出来ませう。シンガポールも何ヶ月かに取るでせう。さういふ時にアメリカがどういふ態度を取るか。日本とイギリスが戦争状態に入つたならば、カナダも濠洲もその日から日本と戦争状態に入る。大西洋でドイツとアメリカの戦争が初つた時にドイツの海軍は英國の海軍で防げる。然し日本とイギリスが戦争したらカナダの太平洋岸はその日から日本の攻撃に暴露されます。處がアメリカのモンロー主義からいふと。昨年八月ルーズヴェルトがカナダで演説した通り、一旦危急の場合にはアメリカは全力を擧げてカナダを援けるといつた。カナダが日本の攻撃に暴露されたといふ際には、アメリカ政府が局外中立を宣言することか出来るかどうか。今日のアメリカ人の輿論からいへば出来ないと思ふのです。

カナダからニユーヨークに電報を打つて、今沖合に日本の飛行機が見えたとか、潜水艦が見えたといつた報道が傳

はつたら、アメリカの輿論はこの日から變つて來ると見て置かねばならぬ。實際問題として今英米が日本に對して攻勢的立場を採ることは想像出來ませんが、守勢的な立場において兩國とも緊密な聯絡をとることは間違ひないと思はれます。

十九

次にロシアのことを附加へて一言して置きたい。ロシアがこの事變に對して如何なる態度を取るかといふことは日本にとつて相當重大な問題であります。事變の當初にはロシアが支那と態度を一にして攻勢を取るのではないかといふ風な推測も行はれました結果、日本は極力滿洲とソヴエツト國境に重點を置いて準備した譯であります。が、イギリス、アメリカ、フランス等で行はれてゐる議論は、ロシアは逆も國內情勢から極東に戰爭する餘力はないといふ意見が大多數であります。ロシアに近いポーランド、ルーマニア方面には、機會があつたらロシアは出るかも知れぬといふ説が相當に行はれて居ります。ロシアは一昨年未だ肅正工作で何千人といふ人が牢に打ち込まれたり、銃殺されたり、その中には相當著名な將軍もあり、多數の大官もあつた。それがロシアを弱くしたと見られる。また考へ直して他の方面から見ると、斯様な異分子を一掃してしまつたといふことは、却つてロシアを強くしてゐるとも考へられる。ロシアは國內結束の爲に外戦を行ふといふ危険がある。一度外國と戰爭すれば舉國一致、官民協力といふ題目のもとに國內の大部分をまとめて行くことが出来る。スターリンがこの手を打たないとも限らない。だから場合によつてはロシアが出るといふ議論がある譯です。

私はかう思ふ。ロシアは直ぐには出て來ない。今の處出て來ないと思ふ。尤も突發事件で鐵砲が急に國境附近で鳴り初めるといふ事件は別なことですが、然らざる限りロシアは進んで日本に攻勢は取らぬと思ふ。何故來ないかといふと、ロシアは恐らくかういふ判断をしてゐると思ふ。日本が支那と引續き戰爭をやつてゐる限り情勢は日々刻々にロシアに有利であると見てゐるに相違ない。何となれば日本は澤山の兵隊を損じてゐる。ロシアはその間に軍備の充實をやつてゐればいゝ。従つて時日が経てば形勢は有利になる。こゝ二三年後には英米の海軍擴張も出來上る。今日直ちに戰爭しては危い。敗けるか、勝つか判らない。戰爭をして大きな犠牲を拂ふことは算盤に合はない。かう考へてゐると思ふのであります。

現に昨年の張鼓峰事件の時イギリス大使、フランス大使がロシアの外務大臣に會つて、モスコイで云つたことは、日本と戰爭をして貰つては困る。ヨーロッパの情勢が極く險惡なんだから極東方面に多數の軍隊を送つてもらつては困ると談した。リトヴィノフはこれに答へて、『よく判つてをります。日本と戰爭しない。兵隊も送りません。日本はあゝやつて支那と長い戰爭をしてゐるとその中にはロシアと戰爭する力を失ふでせうから、私の國は戰爭をしないで済むだらうと思ひます。』と話をしたと云ひますが、如何にも見て來たやうなことだけれども、然し滿更作つた話でない。多少根據のある話であるから、今こゝに御披露した譯であります。

今のロシアは大體さういふ見透しをつけてゐると思ひます。兩國の間には差當り漁業問題が懸案として残つて居ります。これはどうなるであらうか。無論三月十五日からの漁區競賣には日本は参加しないでありませう。來月になりますとそろ／＼船の準備をして沿海州、カムチャツカ方面へ漁業に出かけなくちやならない。漁業家が自由出漁で

シヤに魚を捕りに行くことになるかも知れません。

尤も自由出漁と一口に言ひますけれども随分厄介な仕事である。シベリア沿海洲からカムチャツカへかけて日本の漁区は三百何十ヶ所あります。この前大正十二年に自由出漁した経験によると、驅逐艦數隻を以て護りつゝ、漁業をやつて問題はなかつた。それは當時のロシアが革命直後であつて、ソヴェットの政權はまだ極東シベリアに及んでゐなかつた。神經が通じてゐない時代だから自由出漁をやつて案外問題が起らないで済んだ。唯今はカムチャツカの端までソヴェットの神經が及んで居ります。檢察のゲ・ベ・ウも相當來てゐる。場所によつては兵隊を使つてゐる處もある。其處へ日本の漁業家が行つて、罐詰工場を經營し、漁夫が陸の小舎に泊つてゐるのであるから、ゲ・ベ・ウが鐵砲を撃てば、驅逐艦だけで漁夫を保護するには相當困難である。と云つて陸兵を揚げれば大變なことです。そこで今日は自由出漁といふことが困難になり、漁業家の希望通りにはゆかない理由があります。

二十

ロシアの態度は近頃どうかと云ふと、極東方面では少しも焦つてゐる情勢はありません。ロシアとイギリス、ロシアとフランスの關係は昨年九月のミュンヘン會議の時から大分疎遠になつて來たと、その當時各方面の雜誌等に書きましたが、疎遠になつたのは表面だけです。ミュンヘン會議でロシアが顔を出したらヒットラーとの妥協は壞されるから、イギリス、フランスはロシアを除外してヒットラーと妥協した。だから豫想通り今日となつてはイギリス、ロシアの關係はあの當時に比べて餘程世間の眼に立つやうな情勢になつて來て居ります。

先達ロンドンのソヴェット大使館で宴會のあつた時にチエンパレン總理、ハリファツクス外相が揃つて宴會に出た。イギリスの總理大臣がロシア大使館の宴會に出たのは世界大戰後今度が初めてだそうです。近いうちに又イギリスの貿易官がロシアに行くことになつてをります。近頃ソヴェットとドイツの間に通商條約協定が交渉中であり、又イタリーとソヴェットの間にも通商協定をやつてをります。詰りドイツにしろ、イタリーにしろ、成程仲は悪いが、然し商賣は別だ、金儲は別だといふことでロシアを相手にしてゆく譯です。そこで近頃噂される處によるとロシアはヨーロッパとの關係が少しよくなつたので、極東政策と云ふか、殊に日本に對する態度がかなり強くなつたと云ふものがあります。果してどの程度まで根據のあることか、未だ確然たることは判りません。

歐洲諸國は日本を目標にして實力で抑へやうとしても、海軍力だけではどうする譯にも行かない。日本を一番直接に脅威し得るものは滿洲の國境から朝鮮方面に來るソ聯の壓迫であります。そこでアメリカにしても、イギリスにしても日本との關係が悪くなればなる程ロシアを引込むに努めることは當然で、ロシアに於ても亦日本との關係が悪くなれば英米を引込むといふ考へ方は當然のやり方でありませぬ。

従つて現在の極東の情勢を一口で申しますと、支那とロシアは大體ぐるになつてゐると見るのが本當であると思ひます。そこで日本でもその情勢に對應して今年の議會には陸海軍、空軍擴張をやらうといふので海軍は將來五ヶ年間に十七億圓陸軍の方の數字は出てをりませんが、これも相當莫大な數字になる豫定です。

二十一

事變は武力戦の方は一段落を告げて居ります。武力の争が一段落となれば後の戦争は外交の戦であり、經濟戦である。従つて經濟的に種々の壓迫が外から來ることは豫想して置かなければならぬ。どういふ風に壓迫するかと申しますると、日本の輸出貿易品に高い税金をかけたたり、輸入禁止をする位の程度です。昨今吾國の貿易は國內自體の條件で輸出が少くなつたので、必ずしも外國の壓迫によつて減つてゐるといふ譯ではありません。

輸出難の第一の理由は國內の物價が高くなり、原料品が高くなつて日本の商品はだん／＼算盤が持たなくなり、先方の要求するやうな値段で物を賣ることが出來ないので。第二には輸出する原料が缺乏して品物が出來ない。綿が著しく減つてゐる。人絹のバルブも減つてゐる。注文があつても品物が無いといふ物がある。それから世界へ日本船の出でゆく數が非常に減つて居ります。多數御用船に徵發されて船腹が足りない。東京において石炭が足りない。木炭が足りない。それ等は皆んな船が足りない影響を受けてゐる譯であります。さういふことが日本の輸出貿易が縮まつてゐる大原因であります。

先年來諸國が日本の品物に對して採つたいろ／＼の阻害手段が今になつて漸く芽を吹いて來たといふ狀況になつたために輸出貿易が漸減してゐる。無論日本の貿易がゆかなくなつたことはドイツ、イタリー品チエツコの品物等がその後を次いで進出したから貿易の減退を來した。そのまゝ打捨て、置けば事變が濟んだ際、御得意先を外國に奪はれてしまふことになりはしないか。そこでどうしても早く輸出貿易を振興して市場をなるべく取られないやう努力しなければならぬ。輸出貿易の振興は口で云ふのは易しいが、實際問題としてかなり困難な問題であります。

以上、私の申上げたことによつて日本の國際上における情勢は決して樂觀を許すべからざるものだと御承知下さつ

たことと思ひます。

處が今日まで本當の有の儘を國民に知らせる努力において日本政府は甚だしく怠つてゐる。都合のいゝことは知らせる都合の悪いことは成るべく知らせない方針でやつて來た。國民はラヂオを聴く、新聞を讀む他に實狀を知るの道はありません。ラヂオを聴き、新聞を讀んで戦争は連戰連勝だ。貯金はだん／＼殖える。公債は滞りなく賣れる。何が心配なんだ。國民はお祭り気分になるよりゆきやうがない。毎日好い話ばかり聴かされてゐる。處が一方で國民精神總動員だ、緊張しろ、努力すべしといふ。一體國民精神總動員は何處に力癩を入れるのか、はつきり具體的に示されてをらぬ。恰度お醫者さんが患者に向つてお前の身體は何處も悪い處はないが、兎に角苦い藥を毎日飲みなさいといふのと同じやり口である。それじや患者が納得して苦い藥を飲む譯はない。お前の身體は全體として良いけれど、此處だけが悪いから手當をせねばならぬ。この藥は苦いが飲みなさい、かういふのなら納得して患者は喜んで藥を飲む。國民精神總動員はそう云ふやり方でなければならぬと私は思ふ。だからある程度まで外國の事情でも、國內事情でも政府が正直に國民に知らせることが國民をして心から努力せしめる原因であると思ひます。

無論眞實といふものには不愉快なこともありませう。鼻の低い娘に貴女の鼻は低いといへば眞實であつても娘は怒る。だから眞實でも不愉快な眞實が澤山あります。然し我々日本國民はこれまで成長して來たのですから、少々不愉快な眞實を聴かされても腰を抜かしたり、神經を昂らす程に氣の弱い國民ではないと思ふ。だからほんとうのことを國民に知らせるといふことが心から協力を得る所以だと思ひます。さういふ意味で私は忌憚なき事實を申し上げた譯であります。

更に日本の経済力の實狀、或は生産力の擴充狀況について皆様はどの程度まで御承知か知りませんが、この問題は外交の情況に比べて決して劣らない重大な問題になつてゐる。他日さういふ問題についていふお話を聞きになることをお勧め致します。

二十二

最後に一言申上げて置きたいことは、私の話の大體の筋によつて『お前は飛んでもない悲觀論だ』とお聞きになるかも知れないが、然しこの悪い實狀を轉換する方法はないことはない。勤くも私はあまり悲觀はしない。それは極めて簡単なことです。先程日本が人氣のない四つの理由を申上げましたが、その一つは世界が弱い支那に同情して強い日本を面憎く思ふといふ事でありました。同情するといふのは今現に支那においてチャン／＼バラ／＼をやつてゐるから外國の新聞やラヂオにいろ／＼のニュースが出る。戦争が一段落ついて了つたら、それで世界の人氣は變つて來ることは間違ひない。それは恰度今から三四年前のエチオピア戦争當時、あれ程エチオピア最負であつた日本人が今度はイタリーの國旗をかついで行列してゐる。人類の記憶の墓なさは凡そ斯の如きものである。だからこの點は心配する必要はありません。時間がたてば今日の狀勢はある程度まで變る。又日本は宣傳が下手だが、下手なのは宣傳ばかりではない。これとても努力すれば我々は優秀な民族でありますから、支那人に負けやうとは思はない。又各國との利害關係は違ふけれども、それは決して日支事變ばかりではなく六十何ヶ國が世界に住んでゐる以上、利害關係の衝突することはやむを得ない。利害關係の衝突はこれを調節することが出来る。これがために外交機關があるのです。

處が外交の處理に當つて日本で一つ困難なことは事變の際には殊に國民は愛國心の發露から非常に感情的になり、時としては考へ方が狭くなつて、寛容な精神が缺ける。すると輿論が感情的になり、冷靜な利害の打算に缺けて來る日本人は外交とは日本の思ひ通りを相手に皆聞かせないと外交でないかと考へる人が非常に多い。處が外交といふことは取引であります。日本の必要なものは取る、大して要のないものは相手にやるといふことで取引が出来る。處が日本人は外交といふことは『やらす打つたくり』だと思つてゐる。個人でも國家でも一年や三年はやらす打つたくりで行きませうが、長くは身が立たない。國家と雖も同じであります。昔から國に信なくんば立たずで、信なくんば國家は繁昌しない。天道に背く。だからこの點さへはつきり判つてをれば我々は何處までも信で立つて行くことが出来る。『やらす打つたくり』の連中ばかりでは外交が出来る筈はありません。昨年一年に四人の外務大臣が代つてゐる。廣田、宇垣、近衛さん、それから今度は有田さんが外相になつた。國民からいへば今日程外交の重大な時はない。この際に一年間に四人の外務大臣が代つた。日本の歴史初まつて以來のことである。『何かある』といふことは素人にだつて判ります。その困難の根柢は何處にあるかといふと、どうも未だ國民の間にほんとうに外交に對する理解がない。訓練がない。そして事毎に感情的になつてほんとうに冷靜に大局の上から物を判斷することに缺けてゐる。だから今日この際一番必要なことは國民の聰明であります。

銃後に在つて口先の強がりといふことは誰にでも出来ませう。これ程簡単な仕事はないのであります。けれども世間の變貶を顧みず、大局から必要だと思つたら何處までも押切る。捨身になつて押切るといふ勇氣はなか／＼出ないものであります。だが、さういふ政治家や、さういふ識者が出て來ないと日本の將來は危ない。自分一人が好い子にな

五四
ららといつた政治家許りでは、日本の將來は危いと思ふ。どうか皆様のやうな教化團體の重要な仕事に當つて居られる方々は、外交問題について正しい認識の下に、民衆指導の爲に一段と御努力下さることを私は希望する次第であります。

昭和十四年九月廿七日 印刷納本
昭和十四年十月五日 發行

岡山縣淺口郡金光町大字大谷二七六番地
金光教典籍出版部

發行人 兼 代表者 近藤明道

印刷人 山浦松太郎

印刷所 東京市神田區神保町三丁目二九番地
山浦印刷所

發行所 岡山縣淺口郡金光町大字大谷二七六番地
金光教典籍出版部

399

187

終

